

三芳町では長年、図書館、学校、保育所他さまざまな施設や地域で、子どもの読書活動推進に力を注いできました。文部科学省からも「子ども読書活動優秀実践図書館」として、平成14年と平成26年の2度に渡り表彰されました。

この伝統をさらに推し進め、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが生涯にわたり読書に親しみ、読み合う喜びを共有できる心豊かな「よみ愛・読書のまち」となることを目指します。

よみ愛・読書のまち宣言 三芳町



武蔵野台地のみどり豊かな三芳町で、わたしたちは、手を携えて子どもの読書活動を推進しています。読書でつながる人の輪が広がっています。

わたしたちは、読書の力を信じます。読書はわたしたちの創造力と心を豊かにし、心の扉を世界に開きます。本を読み合うことであたらしい絆も生まれます。

わたしたちは、三芳町を、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが生涯にわたり読書に親しみ、本を読み合う喜びを共有できるまちにします。本を読み合うことで人々が結びつき、愛と夢と知性にあふれた心豊かなまちとなることを目指し、ここに「よみ愛・読書のまち」を宣言します。

1. 赤ちゃんを愛情豊かに育てる家庭での読み聞かせを大切にします。
1. おはなしを夢中で楽しめる幼児期に、絵本や本をたくさん読んであげます。
1. 朝読書（あさどく）・読み聞かせ・ブックトークで、読書に親しむ子どもを育てます。
1. 親子・きょうだい・夫婦・家族で、本を読み合う家読（うちどく）に取り組みます。
1. 毎月23日を「よみ愛・読書の日」と定め、家庭・学校・図書館・職場・地域で、読書や読み合いを楽しむ人の輪を広げます。

（平成28年4月26日議決）